

令和7年3月25日

長崎リハビリテーション学院
学院長 加治 俊文 殿

学校関係者評価委員会
委員長 美野田 哲夫

令和6年度 学校関係者評価報告について

令和6年度自己評価に対する学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 山下 均 (鈴木病院 リハビリテーション科科長 理学療法士)
- ② 岩永真仁 (南野病院 リハビリテーション科科長 作業療法士)
- ③ 福田優希 (長崎みなとメディカルセンター市民病院 言語聴覚士)
- ④ 平野英三 (元同窓会会長 愛野記念病院)、副委員長
- ⑤ 橋口研一 (大村市赤佐古町 町内会長)
- ⑥ 広田耕二 (長崎県立大村高等学校 教頭)
- ⑦ 美野田哲夫 (元長崎県教育庁)、委員長

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第3回委員会 令和7年3月21日 (会場 長崎リハビリテーション学院)

3 学校関係者評価報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標1. について

学院ブランディング化の推進については、新しいキャッチフレーズを作成し、R7年度から活用する予定とのことで、積極的にそれを取り入れた広報活動を実施してほしい。高校への出前講座や地域交流イベント、ジョブフェスタなどの地域貢献活動は継続して実施し、広く認知される学院になることを期待したい。

入学者が目標数値に達しなかったことについては、原因分析をして次年度につなげてほしい。選抜試験は募集要項にもとづき、適正に実施されている。

2 重点目標2. について

ICT活用教育推進委員会は年間計画に則り計画的に実施し、令和7年度入学者のICT機器端末の決定や教員の準備事項を整理できている。また、ICT活用の研修を積極的に実施して、全ての学生と教職員がシステムを使いこなせるように進めてほしい。

退学者が一定数いるので、今後も、クラス担任を中心に学科、学院全体で取り組んでほしい。退学防止の仕組み作りとしても取り組んでほしい。

勤怠管理システムが本格運用され、教職員の勤怠状況が組織的、個人的にも把握できる状況である。見える化により、在校時間の適正化を図り、さらに働き方改革の推進を行ってほしい。

3 重点目標3. について

臨床実習は条件を満たした指導者による実習指導により、学生は中断することなく最後まで実習に臨むことができているとのことで、今後も実習施設と連携して良い教育環境を整えてほしい。

1年生からのキャリア教育により、早期に学生が自分の将来像をイメージできることで、転退学防止につなげていることは良い取り組みである。

全国からの求人数は去年より増えているが県内は減っているとのこと。就職に関する講座等により、学生が希望するところに就職できるように指導してほしい。

早期から講義やアプリ使用等で国家試験問題に触れる機会を多くして、国家試験合格率の向上に向けて全学科教員で取り組んでほしい。

Ⅱ 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

教育理念に基づき、教育目標を掲げて人材を育成することを目指して取り組んでいる。
言語療法学科は指定規則改正により令和 7 年度入学生から新教育課程表で実施する。届け出・承認を経て、具体的な準備・対応を行っている。新旧混在するため、完全移行に向け確認・調整して取り組んでいきたい。

2 学校運営

学院単年度目標を 4 月の職員会議で示し、具体的数値目標の達成に向けて取り組んだ。また、9 月に中間評価を実施し目標の進捗状況の確認をした。目標に到達していない項目については目標達成に向けて後期、具体的に取り組んだ。
学院運営規定に則り、各種会議および教務・校務を遂行した。
向陽学園本部と定例会において学院実施報告ならび実施計画等の提案を行い、決裁ならびに指示を得て実施している。また、現場サイドと経営サイドの連携強化に努めている。
情報システムでは、全教職員がシステムを使いこなせるように研修等により技術を高め、教育効果を挙げてほしい。

3 教育活動

学院単年度目標の一つに教務力向上と国家試験合格率の向上を目標に学院あげて取り組んだ。全科目のシラバスを年度開始時にホームページ上に公開し、授業前に情報提示ができています。
1 年生からのキャリア教育により、学生が早期に自分の将来像をイメージできるようにすることで、転退学防止につなげている。
常勤の授業評価アンケートは全科目実施したが、回答率が低い科目については実施方法を検討してほしい。
言語療法学科は指定規則改正で 1 名増員が必要であり、適切な人材確保に取り組んでほしい。

4 学修成果

国試対策委員会において合格率の数値目標を設定し、計画的に全教員で取り組んでいる。1、2 年生の早期からの取り組みや効果的なグループ学習の体制づくりなど、さらなる合格率の向上につながる指導を期待したい。
求人数は全学科、昨年度よりも全国求人数は多く、県内求人数は少ない状況である。内定率は昨年と同じである。早期に求人活動ができるよう、並行して学習指導も行ってほしい。
就職後状況調査では、特にコミュニケーションスキルが求められているので、学内教育を更に充実させてほしい。

5 学生支援

学生の相談は、担任を中心に、学科、相談室、保健室と学院全体でのサポート体制を整え、対応に当たっている。引き続き学生と教員との信頼関係づくりのために日頃から声かけや相談しやすい体制づくりを心掛けてほしい。

中途退学の原因は多岐にわたっている。学生の傾向から退学リスクを早期に発見し、対応できるように努めてほしい。早期のキャリア教育が退学防止になるよう取り組んでほしい。

今年度も特待生制度や奨学金制度を実施した。また、言語療法学科に加え理学療法学科も専門教育訓練講座の対象となった。作業療法学科も再指定に向け取り組んでほしい。

同窓会活動の再始動に向けて計画的に取り組んでほしい。参加しやすい Web 上の開催を検討してはどうか。

6 教育環境

指定規則改正による実習室の改修・教育用具の補充について、速やかに対応すべく整備計画を立案して対応している。

本館は、経年により改修が必要な部分もあり、計画的に改修を実施していく。

臨床実習指導者会議はコロナ禍前と同じ対面形式で開催し、研修会や学生面談も実施できた。

今後も実習施設とは連携のとれた教育ができるよう信頼関係を構築していく必要がある。また、全学科、臨床実習指導者の養成のための講習会への協力を行っている。

防災訓練については土砂災害防止法に基づく「学校避難確保計画」を策定し、学生および教職員全員を対象に防災教育及び避難訓練を実施している。今後もさらに学生、職員の防災意識を高めるための取り組みを行ってほしい。

7 学生の募集と受入れ

今年度はオープンキャンパス、ガイダンス、高校訪問の回数を増やし、SNS(Instagram)の発信を強化した。オープンキャンパス参加者数は昨年度より増加し受験率も向上したが、入学者は目標数を下回っている。少子化の影響は大きいですが、原因をしっかりと分析して、引き続き効果的な募集活動に取り組んでほしい。

選抜試験は受験生の状況に応じた受験ができるよう複数の選抜方法を設けているので、受験者増を期待したい。

8 財 務

財務は健全性と安全性を重視し計画的に施行されている。対応については前年度と同様に行っている。

9 法令等の遵守

専修学校設置基準および養成施設指定規則等の関係法令にもとづき、就業規則をはじめ学院組織運営規程等を整備し適正な運用がなされている。言語療法学科の指定規則改正に伴う教育課程表を変更し学則変更の届け出を行った。

相談窓口は、学生向けに「学生相談室」、教職員向けに「向陽学園職員相談窓口」を設置している。

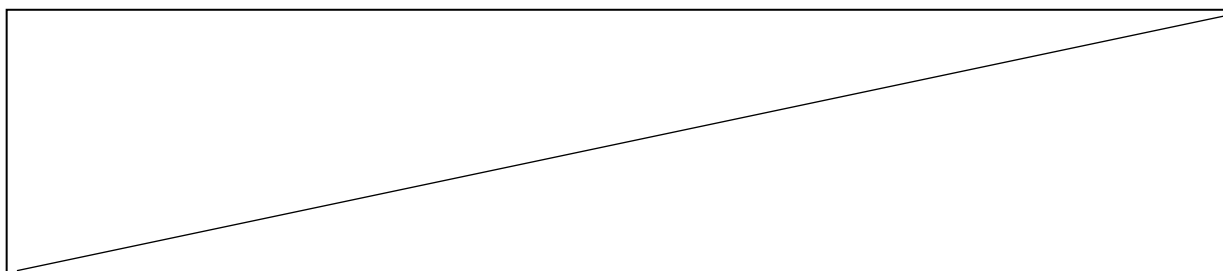
学校評価は適正に行い、必要な情報公開については適宜、更新を行い実施している。（自己評価、学校関係者委員会報告書等）

10 社会貢献・地域貢献

高校への出前講座や中学生への職業講話、未就学児から中学生への地域交流イベント、介護予防教室への学生・教員の派遣など行った。

外部からのボランティア依頼数は昨年度と同じで、コロナ禍前までの状態に戻っていない。そのような状況の中で学生の参加意欲もなかなか上がらないところが課題である。ボランティアに関心のある学生は一定数いるので、ボランティア部の創部など検討してほしい。以前の学生主催の発達障害児と保護者に対する活動が再開できるように準備をしてほしい。

11 国際交流 ※学校から必要がある項目として提示された場合



学校関係者評価

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

1) 項目1：理念・目的・育成人材像

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4	4
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	4
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	4
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	4

2) 項目2：学校運営

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4	4
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	4
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	4
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	4	4
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	3	3
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4	4
2-7-1	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4	4

3) 項目3：教育活動

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	4
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4	4
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	4
3-9-2	教育課程について外部の意見を反映しているか	4	4
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	4	4
3-9-4	授業評価を実施しているか	4	4

3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
3-10-2	各種科目試験は適切に行えているか	4	4
3-10-3	講義や実習の運営は適切に行えているか	4	4
3-10-4	学籍管理は適切に行えているか	4	4
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	4
3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	4
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	4
3-12-2	教員の資質向上への取組みを行っているか	4	4
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	4	4

4) 項目 4 : 学修成果

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4	4
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	4	4
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	4

5) 項目 5 : 学生支援

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	4
5-17-1	退学率の低減が図られているか	4	4
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	4	4
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	4
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	4
5-19-3	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4	4
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4	4
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	3	3
5-21-2	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	4
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4	4

6) 項目 6 : 教育環境

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	4

6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	4
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	4
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4	4

7) 項目 7 : 学生の募集と受け入れ

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	4
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	3	3
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	4
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	4
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	4	4

8) 項目 8 : 財務

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	4
8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	4
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	4
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4	4
8-30-1	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	4
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	3

9) 項目 9 : 法令等の遵守

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	4
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	4
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	4
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	4	4
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4	4
9-34-4	学校関係者評価結果を公表しているか	4	4
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	4

10) 項目10：社会貢献・地域貢献

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3	3